様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1 -①を用いること。

学校名	下関福祉専門学校
設置者名	学校法人下関学院

1.「実務経験のある教員等による授業科目」の数

一大物性歌のめる教具寺による技术作首。の数						
課程名	学科名	夜間・ 通信 場合	実務経験のある教員等による授業科目の 単位数又は授業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配置困難	
短が 専用細和	介護福祉学科	夜 · 通信	1070 時間	160 時間		
福祉専門課程		夜 · 通信				
		夜 •				
		通信				
		夜 •				
		通信				
(備考)						

2.「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ UR L http://www.shimonosekigakuin.ac.jp/s_fukushi/index.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校 法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いる こと。

学校名	下関福祉専門学校
設置者名	学校法人下関学院

1. 理事(役員)名簿の公表方法

ホームページ

URL http://www.shimonosekigakuin.ac.jp/s_fukushi/index.html

2. 学外者である理事の一覧表

171日(670年)。 是次						
常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割			
非常勤	宇部学園学園長	学園長 4年				
非常勤	元衆議院議員	4年	学識経験者			
非常勤	クリニック院長	4年	学識経験者			
非常勤	動物病院院長	4年	評議員より選出			
(備考)						

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	下関福祉専門学校
設置者名	学校法人下関学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法 や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表して いること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

授業計画(シラバス)については、各教科の担当教員が介護福祉士養成新 カリキュラム教育方法の手引き及びテキストを参考に作成したものを教務 会議を開いたうえで、専任教員と教務が協議のうえ確定する。

確定したシラバスは、年度初め(4月上旬)にホームページ上に掲載。

授業計画書の公表方法 | http://www.shimonosekigakuin.ac.jp/s_fukushi/index.html

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、 学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定して いること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

授業科目が終了する学期末に、筆記試験及び小テスト、レポート(実技を 伴う授業については、実技試験)を行い、シラバスや学生のしおり等で公表 している評価基準により評価し、規定に達したものに単位を与える。

実習においては、実習指導者及び担当教員が実践状況、実習にかかわる 諸記録、レポート及び実習態度により、総合的に評価し、教務会議にて全 教員協議のもと単位認定を実施。

学年末には進級判定会議を開き、各学生の履修状況の把握を実施。

学習の評価については、(1) 前期・後期の定期試験、実習評価、出席等総 合的に判断し、各期毎の成績により評価している。(2)介護実習の出席時 間に関しては、指定規則の時間数の5分の4未満の者については評価しな い。(3) 学習の成績の評価は、優 (80 点以上)、良(79~70 点)、可 (69~ 60点)とし、不可(59点以下)をもって不合格とすると「学生のしおり」で 公表している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとと もに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価は、各科目ごとに試験を実施し優・良・可・不可で評価している。 成績の客観的な指標は、各科目の成績を100点満点で算出し、全科目の合計点数を 科目数で割り個人の平均点を算出し、以下の6段階に分類し4分の1以下の人数と点 数を出す。

①50 点以下②51 点~59 点③60 点~69 点④70 点~79 点⑤80 点~89 点⑥90 点~100 点

成績の確定は優・良・可・不可の4段階であるが、上記の指標を参考に成績不振の学生の把握を適切に実施。

尚、成績の分布状況及び成績評価の方法はホームページ上で公表している。

客観的な指標の

ホームページ

算出方法の公表方法

http://www.shimonosekigakuin.ac.jp/s_fukushi/index.html

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定に関する規程は、卒業要件として「学生のしおり」に卒業に必要な単位を取得することと明記している。

卒業認定については、全職員出席のもと、卒業年度の学生を対象に、7月末(夏休み前)、12月末(冬休み前)および2月中旬に卒業判定会議を開催している。

判定会議の条件としては、卒業年度の7月末には1年次の科目について不可がないこと、12月末に全科目履修できていること(不可がないこと)、第3回目の判定会議では、全ての科目履修が確認され、必要なレポート及び卒業論文の提出がみとめられることしている。卒業に関する規程は学生のしおりに記載している。

卒業の認定に関する

ホームページ

方針の公表方法

http://www.shimonosekigakuin.ac.jp/s_fukushi/index.html

様式第2号の4-②【4)財務・経営情報の公表(専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4 -①を用いること。

学校名	下関福祉専門学校
設置者名	学校法人下関学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.shimonosekigakuin.ac.jp/s_fukushi/index.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.shimonosekigakuin.ac.jp/s_fukushi/index.html
財産目録	http://www.shimonosekigakuin.ac.jp/s_fukushi/index.html
事業報告書	http://www.shimonosekigakuin.ac.jp/s_fukushi/index.html
監事による監査報告(書)	http://www.shimonosekigakuin.ac.jp/s_fukushi/index.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	纾	課程名	当	科名		専門士		Ī	高度専門	
教育・社	会福祉	福祉専門課程	全 介護福祉学科		文	P成 6 年 部科学省 示第 84 号				
修業	昼夜	全課程の修了	了に必要な総		開設	して	こいる授業	美の種	類	
年限	生仪	世代 授業時数又は総単	受業時数又は総単位数		演習	瓜冠	実習	実恩	険	実技
	昼				単位即 360/単		単位時間 486/単位	単位 ⁶ / j	時間 単位	単位時間 240/単位
2年		1976 単位	立時間/単位				单	位時	間/	/単位
生徒総算	定員数	生徒実員	うち留学生	ち留学生数 専任教員		数	兼任教員数		総	教員数
	80 人	46 人	4	人	3	人	1	4 人		17 人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

授業方法、内容、時間数、評価方法を記載したシラバスを各教科ごとに作成し、 ホームページ上に掲載している。

成績評価の基準・方法

(概要)

各科目終了ごとに試験を実施し、公表している成績評価基準、優・良・可・不可に基づき評価を実施、規定に達した学生に単位を与える。

卒業・進級の認定基準

(概要)

進級条件

講義、演習の総時間数の3分の2以上の出席をすること。

科目履修後、試験を受け合格すること。

全実習時間数の5分の4以上の出席をすること。

卒業条件

全ての科目試験に合格し、単位を取得すること。

学修支援等

(概要) 学生より相談等があれば随時担任が個別に対応するが、必要であれば臨床心理士が対応する。成績不振の学生については、個別相談を行い、単位取得に向けて補講等を実施。

実技の授業に関しては、放課後や空き時間及び長期休暇中に個別に対応。

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16 人	0 人	16 人	0人
(100%)	(0%)	(100%)	(0%)

(主な就職、業界等)

介護福祉施設、介護保険施設、居宅サービス事業所、障害者支援施設、通所介護事業所

(就職指導内容) 就職指導教員及び担任による個別対応を実施。

校内就職説明会の実施。

履歴書作成指導及び希望者には面接指導を実施。

(主な学修成果(資格・検定等))

介護福祉士、教育・社会福祉専門課程専門士、准教員(専門課程)、レクリエーションインストラクター

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46 人	0 人	0%

(中途退学の主な理由)

経済的理由

(中退防止・中退者支援のための取組)

- ・担任及び教員が個別相談に応じ、早期に問題解決を図る。
- ・学業不振の学生には、個別に補講を実施。
- ・経済的理由で退学を余儀なくされることがないよう、学校独自の奨学金制度を設けている。

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉	150,000 円	600,000円	230,000 円	その他は設備
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	

修学支援(任意記載事項)

本校を専願とし、家計の事情により修学困難と認められ、人物的に優れかつ健康的で勉強する意思のあるものに対し学校独自の奨学金制度を設けている(授業料全額免除から入学金免除まで8段階による)

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

http://www.shimonosekigakuin.ac.jp/s_fukushi/index.html

学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)

外部評価委員の客観的意見を学校の質向上に反映させ、内部学生による評価の視点と外部の視点から学校評価を実践的な職業教育課程の質の向上に役立てる。評価委員会は原則毎年1回年度末に実施。主な評価項目は教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境。評価委員会の構成については、定数4、選出区分は卒業生、職能団体、関係施設役職員、地域役員としている。評価結果は、年度初めの職員会議等で検討し学校運営や学生支援に活用させる。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
山口県介護福祉士会	2年	有識者
社会福祉法人やまばと会	2年	企業委員
小月商工振興会役員	2年	地域代表者
下関福祉専門学校同窓会役員	2年	卒業生

学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

http://www.shimonosekigakuin.ac.jp/s_fukushi/index.html

第三者による学校評価 (任意記載事項)

委員より地域と学校の結びつきの強化を提案され、地域ボランティア等に積極的に参加するよう学生に促している。

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

http://www.shimonosekigakuin.ac.jp/s_fukushi/index.html